

大原社会問題研究所五十年史

III 本格的事業の展開から東京移転まで〔一九二三～三六年〕

マルクス全集刊行計画と大原研究所

二月一日、岩波書店主人岩波茂雄氏が高野所長を訪ね、同人社、希望閣、弘文堂の三社共同による邦訳マルクス全集の発行について話し、岩波としてもこれを後援したいむね伝えた。岩波氏の協力依頼に対し、所長は考慮すると答えて別れた。同月四日、高野氏は嘉治隆一氏に全集刊行に関して出状したが、それはこの当時、嘉治氏らが主宰する社会思想社同人が中心となって改造社よりマルクス・エンゲルス全集出版の計画が進行しつつあり、研究所が三社側に協力することは種々誤解を生むと考えられたからであり、高野氏は予めこの事を考慮して嘉治氏に手紙を書いたのである。こうして同月二八日の委員会では、研究所の創立一〇周年記念事業としてマルクス・エンゲルス全集の翻訳刊行をなすべきかどうかについて協議し、翌月一日の臨時委員会で次のような決定がなされた。すなわち、全集は研究所で自ら編纂と監修の事務に当る、原典はマルクス・エンゲルス・インスティテュート版を使用すること、もしこの計画がうまくゆかぬ時は、改造社その他各書店の全集計画に所員は個人の資格で参加するも可なること。

高野所長はこの間モスクワのM・E研究所長リヤザノフ氏に出状し、インスティテュート版の翻訳権取得の交渉を行った。

この全集刊行計画の進行最中に、三・一五事件が起り、研究所もその余波をうけて官憲の搜索を受けた。ソヴェトの某機関との非合法連絡という嫌疑によったものらしい。しかし搜索の結果は一物の押収すべきものなく、その後所よりの請求により、その旨を確認する念書を裁判所より取ってこの事件はケリがついた。

三月二四日、高野所長は京都大学に行き、河上肇教授らに研究所の搜索事件を話し、またマルクス全集からは手を引くことになった旨を告げた。その二七日に河上氏は高野所長を訪い、全集計画に関する五社(同人社、弘文堂、希望閣、岩波書店、叢文閣)の話し合いがつかず、遂に計画は破談になったむねを告げた。しかし翌月二日には同人社の大島秀雄氏および小林輝次氏より、再び五社の協定が出来たとの報告があり、一〇日には岩波茂雄、三木清、大島秀雄外数氏が研究所を訪れ、五社連盟より全集を刊行するにつき『剰余価値学説史』を担当してほしいこと、高野、河上両氏を編集顧問としたいことを申入れた。高野氏はこの申入れを所の委員と協議することにし、同月二三日各委員と相談の結果、『剰余価値学説史』翻訳に全力を尽し、他は所員個人の自由参加とすることに落ち着いた。

五月中旬に至り、高野、櫛田、大内その他各委員間の見解も一致し、二〇日の東京における研究所側と五社連盟側との協議の結果、つぎのように決定を見た。すなわち、全集編集主任を高野、大山(郁夫)、河上、櫛田、森戸の五氏とし、その主任より研究所に編集事務を委任し、研究所はこの仕事を櫛田、大内の両氏をして担当せしむること。この決定はのちに委員会で承認を受けたが、その後また全集の編集責任は一切研究所で引受けること、櫛田氏の編集助手として小林輝次氏を採用すること等が決った。六月三日には、高野氏は河上氏を訪い(河上氏は四月すでに京大を辞職)、全集計画について話し合った。この間、改造社は河上氏に、全集刊行につき五社側と合同した

いと申入れるなどの動きもあり、また高野氏はリヤザノフ氏より連盟版全集支持の書簡を得るなど種々の曲折を経る内、五社側で資金問題で行詰り、ついに全計画は破談するかに見えた。こうして九月九日、東京・弘文堂にて河上、櫛田、大山、大内、高野氏会合の結果、従来計画通り全集を刊行することに一決、もし書店側でこれを実行しない時は編集手当と原稿料、手当、広告料等の賠償七、〇〇〇円を支出させることに意見の一致を見た。しかるに弘文堂主人は全集発行引受けの契約はまだなされていないことを主張、結局物決れとなり、会談は翌日にもち越された。一〇日の会談においても、弘文堂主人は高野、河上氏らの提案をしりぞけ代案を示したが、これも妥結に達せず、ついに編集者解雇手当、広告費の支払い、読者への予約金払戻し等の妥協案で、全集発行計画は破談になり、五社連盟は解体した。

九月二日の委員会で、全集問題の結末が報告され、この年の初めから約一年にわたり、研究所の首脳部を悩わした問題はここに落ち着いたのである。この五社連盟全集計画の破談後、同人社や希望閣の経営難と、その救済策をめぐり、高野氏と改造社山本実彦社長との間に種々の接衝があり、また年内にはその一応の解決も見ただのであるが、それらの事情はここではすべて省略する*。

*全集計画からその後仕事にいたるまでの経過については、小林勇『惜樂荘主人ー一つの岩波茂雄伝』一九六三年刊、および前掲『高野岩三郎伝』二六九ページ以下に詳しい。

法政大学大原社会問題研究所五十年史
発行 1970年11月
編・発行法政大学大原社会問題研究所

[前のページ](#) ← [法政大学大原社会問題研究所五十年史【目次】](#) → [次のページ](#)

[研究活動・刊行物](#) [OISR.ORG全文検索](#)

[法政大学大原社会問題研究所\(http://oisr.org\)](http://oisr.org)
